

## 【温暖化対策の推進】 4. ストップ温暖化プロジェクト

### 4-1 かさまの森林(もり)推進

〈ねらい〉 本市に所在する森林を対象に、市民・事業者と協働により植林や間伐等の森林整備を行うことで、森林の伐採と再生のサイクルを促進し、二酸化炭素吸収量の多い森林を形成します。また、森林整備を通して環境教育・自然体験を行い、市の自然環境に対する保全意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 かさまの森林(もり)を元気にしよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和元年度
森林・里山保全活動への参加人数	1,045人	1,050人	1,050人	1,489人

#### 実施内容

森林吸収源としての機能をはじめ、水源かん養機能や国土保全機能など多様な公益的機能を担う森林の役割や重要性について周知を図り、地場産材の積極的な利用や里山保全活動に積極的に参加・協力するよう呼びかけます。また、里山づくりや森づくりに努めます。

- 5月11日(土) 愛宕山で、(株)カスミ主催によるカスミ共感創造の森植樹祭が行われました。この活動は、地球環境保全活動の一環で平成23年度から実施されており、本年度で9回目となりました。  
なお、植樹祭には市民、関係者など約650人が参加しました。

- 緑の少年団活動(市内4団体) 839人  
団体活動を支援し、森林・林業体験キャンプ、里山体験学習及び花壇づくり等を行いました。  
(稲田小学校わがくに緑の少年団236人、友部緑の少年団30人、北川根小学校緑の少年団277名、岩間第一小学校あたご緑の少年団296人)

#### 〈評価・課題〉

森林資源の活用促進として、緑の少年団活動等を支援し、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図りました。

一方、森林機能維持のために必要な伐採等の維持管理が、地権者の実情により計画的に進まない状況があります。

第1章の関連する施策: 森林の育成・活用(P5)

## 4-2 環境にやさしい交通推進

〈ねらい〉 講習会や学校の授業において交通利用の在り方を見直したり、公共交通利用や徒歩、自転車による移動がしやすい環境を整備することで、環境負荷が小さい交通利用を推進し、市内における運輸・移動による二酸化炭素や大気汚染物質の排出量の低減を図ります。

〈実施事業〉 公共交通や自転車を活用しよう！

取組指標	現状(H29)	中期(R2)	長期(R7)	令和元年度
ノーマイカーウィーク 実施回数	2回	2回	2回	2回

### 実施内容

過剰なマイカー利用がもたらす地球温暖化問題についての意識の高揚を図るため、ノーマイカーウィークを実施します。通勤、通学、買物等で、マイカーの利用を控え、鉄道・バスなどの公共交通や自転車を利用するなど、環境にやさしい移動の取り組みを促進します。

● 6月1日（土）～6月7日（金）（7日間）

- ・延べ参加者数 3,417名  
うち公共交通や自転車などの利用 443名

● 12月20日（金）～12月26日（木）（7日間）

- ・延べ参加者数 3,251人  
うち公共交通や自転車などの利用 428人

● 12月21日（土）

- ・バスの乗り方教室の開催  
場所 伊勢甚友部スクエアショッピングセンター  
笠間ショッピングセンターポレポレシティ  
参加者 約100名

### 〈評価・課題〉

ノーマイカーウィーク期間中、ノーマイカーを実践できたのは参加者の1割程度の結果となりました。公共交通や自転車での通勤が困難なマイカー通勤者には、同じ方面の方との相乗り通勤など、できることから実践するよう促進していきます。

第1章の関連する施策:スマートムーブ(自転車利用の抑制)(P24)、広域連携による取組の推進(P29)

### 4-3 市民の主体的な温暖化対策促進

〈ねらい〉 省エネの取組や電力消費量の「見える化」など、家庭において日常生活のなかで実践できる地球温暖化対策について紹介するとともに、参加型の取組を実践したり、インセンティブ（意欲の刺激）を付加したりすることにより、活動の促進を図ります。

〈実施事業〉 CO2 削減エコライフチャレンジに参加しよう！

取組指標	現状(H29)	中期(R2)	長期(R7)	令和元年度
エコチャレンジ 市内参加人数	354人	500人	700人	389人

#### 実施内容

家庭での節電により、どれだけ二酸化炭素（CO2）を減らすことができるかを競う取組を県央地域9市町村で同時に実施します。

- 家庭における電気の使用量の削減に努めるため、令和元年11月の家庭の電気使用量と平成30年同月とを比較し、昨年度比で電気量を削減する取り組みを意識的に行うため実施しました。

取組期間：10月から11月の2か月間

#### 〈評価・課題〉

節電など、できることから始めることが、地球温暖化防止に繋がることから、学校などを通じて、各家庭の参加を促していますが、一般の参加者が少なく、更なる周知が必要となります。

気軽にできる地球温暖化防止対策の一つとして、節電に取り組む家庭が増加するよう促進していきます。

第1章の関連する施策：家庭や学校における地球温暖化対策の普及促進(P24)、広域連携による取組の推進(P29)

## 【環境教育・学習・活動の促進】

### 5. 環境学習・環境保全活動促進プロジェクト

#### 5-1 主体的な環境教育促進

〈ねらい〉 子ども達が自ら環境保全に関する課題を発見し、対策を検討し、自ら取組を行う主体的な環境教育の実施を通して、身近な環境に関心をもち問題意識を持つとともに主体性を養う。

〈実施事業〉 涸沼川・巴川を探検しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和元年度
参加者数	27人	35人	40人	92人

#### 実施内容

クリーンアップひぬまネットワークや霞ヶ浦問題協議会等で開催する各探検隊に参加して河川の環境問題について勉強します。

##### ① 涸沼川探検隊

8月8日(木)小学生23人参加  
涸沼川をもっと身近に感じ、水質浄化意識の高揚を図ることを目的に「涸沼川探検隊」を実施しました。自然公園指導員の矢野先生の指導のもと水生生物の調査や簡易水質検査(パックテスト)を行いました。



##### ② 巴川探検隊(市内小学生69人参加)

愛宕山から北浦(霞ヶ浦)に流れ込む巴川の水辺の環境学習を目的として、巴川流域の小学生を対象に、水環境への関心を深めるため「巴川探検隊」を実施しました。

##### ◆【全体事業】7月25日(木)市内小学生24人参加

構成市町村(笠間市、小美玉市、鉾田市、茨城町)の児童及び関係団体約120人参加(令和元年度担当市:笠間市)  
地域交流センターいわま「あたご」で、水質調査や竹笛づくりをし、飯田ダムで、監査廊見学やダム公園周辺の探索を実施しました。



◆【地域事業】 8月6日（火）小学生27人参加

雪入ふれあいの里公園（かすみがうら市）において、自然観察を行い、霞ヶ浦環境科学センターで、水質調査などを実施しました。



◆【地域事業】 8月27日（火）小学生18人参加

新治浄水場（土浦市）において、水処理について学習し、霞ヶ浦環境科学センターで、水質調査などを実施しました。



<評価・課題>

涸沼川・巴川探検隊の活動を通して、河川の水質や動植物について学び水質浄化意識の高揚を図りました。

毎年、夏休み期間中に実施している野外での活動のため、熱中症など子ども達の体調管理に留意しつつ、今後も、子ども達が主体的に参加できるような体験学習を実施します。

第1章の関連する施策:水辺の保全意識の高揚(P2), 学校等における環境学習の推進(P27), 体験型学習機会の充実(P27)

## 5-2 市民環境学習促進

〈ねらい〉 子どもから大人までを対象に、身近な環境から地球規模の環境問題まで幅広く環境について、学び体験する機会を提供するとともに、環境に対して関心をもち、主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ります。

〈実施事業〉 環境寺子屋に行こう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和元年度
開催回数	—	4回	6回	3回

### 実施内容

地域の環境資源を活用し、講師による市民参加型の「環境寺子屋」を開催します。

#### ①「地球温暖化講座・工作教室(保冷剤づくり)」

7月28日(日) 参加者20名

会場：岩間公民館 視聴覚室

講師：茨城県地球温暖化防止活動推進員・地球温暖化防止コミュニケーター

岸 倫男さん ・ 松本 洋司朗さん ・ 今野 克徳さん

小学4年生～6年生を対象に、クイズを交えながら地球温暖化講座を実施しました。その他、保冷剤づくりや実験(パックテストによる水質調査)を行いました。



## ② 「第3回笠間市こども理科自由研究プレゼン大会」

11月10日（日）

参加者：プレゼン参加者27名，司会（児童）6名，来場者95名

会場：笠間図書館 2階ホール

市民団体（かさま環境を考える会，ごみを考える会）が中心となり，小学生が夏休みの理科自由研究の成果を発表し伝える力などを育むプレゼン大会を開催しました。

13作品27名の児童が発表し司会も小学生が行いました。子ども達が主役となり楽しく開催することができました。



## ③ 「ごみを考える会講演会」

2月26日（水） 参加者31名

会場：地域交流センターともべ「トモア」

講師：気象予報士・茨城県地球温暖化防止活動推進員・地球温暖化防止コミュニケーター  
岸 倫男さん

《気候変動と異常気象～子供たちの未来と私たちの暮らし～》と題し，地球温暖化の要因や自分たちにできることなどを学びました。



## <評価・課題>

子どもから大人までを対象に，環境について学ぶ機会や発表する機会を提供することができました。環境寺子屋を開催し，主体的に環境保全活動に取り組む意識の醸成を図ることができました。

第1章の関連する施策：地球温暖化に対する理解促進(P24)，市民・事業者への環境学習の促進(P27)

### 5-3 市民環境活動促進

〈ねらい〉 情報提供や活動内容・成果披露の場の提供，実施体制の強化など市民・事業者が行う環境保全活動に対して支援を行うことで，各主体が環境保全活動を行う環境を整備し，その取組促進を図ります。

〈実施事業〉 環境イベントに参加しよう！

取組指標	現状(H27)	中期(R2)	長期(R7)	令和元年度
環境イベント参加団体数	10団体	12団体	14団体	11団体

#### 実施内容

日頃の環境活動や環境学習成果を環境イベントに参加して発表する。

- 「かさま環境フェア2019」を笠間芸術の森公園イベント広場において，10月26日（土）（11団体参加）に実施しました。いばらき都市緑化フェスティバル，茨城フラワーマーケットと同時開催し，来場者は1,000名以上でした。

#### ● イベント内容

- 1) 市民団体や事業所による環境に関する展示や体験コーナー
- 2) 市内小中学生作「環境美化」や「ペット飼育のマナー」のポスター展示
- 3) ペットのしつけ相談，ドッグランの設置 など

#### ● 参加団体

ごみを考える会	かさま環境を考える会	いばらきエコの会
笠間市消費者友の会	セキスイハイム工業株式会社 関東事業所	ジャパンテック株式会社
公益社団法人茨城県獣医師会	茨城県産業戦略部 技術振興局科学技術振興課	筑波山地域ジオパーク推進協議会
クリーンアップひぬまネットワーク	ごみの減量化と資源物のリサイクル (エコフロンティアかさま，笠間・水戸環境組合)	



#### 〈評価・課題〉

笠間芸術の森公園で「いばらき都市緑化フェスティバル」，「茨城フラワーマーケット」と同時開催し例年より賑やかに開催することができました。今後は，更に多くの企業や団体と連携しながら，より効果的な事業を計画する必要があります。

第1章の関連する施策：市民・事業者の環境保全活動への支援(P29)